

A minimalist line drawing of a rabbit-like character. The character has a round head with a single red eye and a small white dot. Its body is composed of simple white lines, with a large, intricate red scribble covering the middle section. The background is black.

世界観の崩壊した僕

YuutsuUsagi

## 崩壊の道しるべ

---

僕は何処に行けばいいの？

教えてよ怖いよ

助けてお願い

もう誰も僕を必要としない

もう僕は要らない子なんだね

でもさようならなんて言う言葉なんて

知らないよ

否定確定時間を刻み

亡霊となったこの体で

SHI

## 希望

---

唐突に死を迎える時

何か探して

何かの絶望を探して

僕は誰も負けたくなくて

希望が欲しくて

神サマにお願いしてよ

どうして僕を生んだの？

理由を話さないなんて

ズルイヨ

許サナイヨ

夜空が . . .

---

碧く澄んだ空

そして君の瞳は太陽の光で

輝いていた

君が笑ったのは僕が死んだ後だったね

そして君が残した痕が残っていた

僕の心に痕が付いた

ありがとうなんて言わない

君が笑っていれば

僕は幸せだ

夜空が君みたいに悲しんでいた . . .

## 君が生きていた世界の証明を発見しようとした結果

---

もし自分の世界が崩壊しても誰も気づかない

感じることでできない縮小的な崩壊

ただ時間を過ぎるの待つしかないのかと

思うだけで理解しようと努力もしない人間達が絶望する瞬間

人間の精神崩壊のカウントダウン開始の合図

君と歩いた世界の証明するために

僕は生きていることをここに証明したい

空が今まで青かったのに何故赤くなったのか

真っ赤になり血の色だった

僕の脳みそが君の思い出で

満たしてくれるなら

君が生きていたことを証明する約束をしよう

でも発見することができなかったよ

## セカイで生きる意味

---

僕は彼女の夢を見ました

僕は彼女に言いたい事がありました

でも、彼女は答えてくれませんでした

心臓の震えを感じました

世界は絶望でした。人間の理解が出来ませんでした

全ての人類の願いは消えました

人間という生物の汚点でした

確固たる意識を感じました

僕の感情は崩壊しました

彼女は僕の目の前で消えました

東京タワーが赤い理由を知りました

僕は精神崩壊精神崩壊しJISATUしました

でも分かっていました。彼女は

人間ではない事はもう分かっていました。もう意味がありませんでした

この世界は誰かによって作られた事はもう知っていました

僕達の世界は箱の中のように飼われていました

自分が存在しているのは分かっていました

全ての願いは崩壊でした

世界が崩壊しても僕は忘れませんでした

## 僕の夢のホーム

---

夢は覚めて

怖いのは誰でもあるんだろうな・・・

踏切の前で電車が過ぎた時間が終わり

早くこの悪夢から逃げ出したい

楽しい夢は大切な宝物

さようなら僕の夢

ありがとう嬉しかったよ

でも二度同じ夢は会えない

当たり前の法則

線路にゴミ袋があった事は覚えている



## 時間病棟

---

時間病棟は

時間患者がいた

時間に踊らされて

自分を見失った

消えたい

時間を止めても同じだった

思考停止になり

精神崩壊の道へ行くのだろう

空間の宝石の一部になって・・・

笑ってごらんなさい

---

また笑われるんだろうな

また馬鹿にされるんだな

また嫌われるんだな

また殺されるんだな

また逃げるんだな

また壊されるんだな

また明日生きているんだな

また無視されているんだな

またさようならって言われるんだろうな

## 愛は消えない

---

愛は探している物だと思います

この僕も欲しいくらいです

大好きだったあのの人に

願いを込めながら

昔 あの人は言いました

「貴方はすぐに見つかるわ」

と言いました

僕はその事を信じ

夢を抱きながら

今でも生きています

でも今の僕には夢も何一つありません

何も無いけど

僕はなんて素晴らしい夢と愛を

持ったんでしょう

貴方に会うまでは

僕と踊りませんか？

---

僕は夢を背負って

何か形にして生きているの

とても素敵な事

夢の中をずっと歩いてたよ

世界も地球も一緒に回るよ回る

最後赤い信号機見つけて

ぶつかった

僕は大きく回る

僕の体を丁寧に並べてくれた

貴方は言った

「貴方は私にとって大切な人」

僕が言えることもできず

でも誰よりも大切だと違わない真実だと

脳みそを積み上げて

記憶と共に遡り

見えた世界は真っ黒に塗りつぶす

僕の不確かな記憶と貴方と

一緒に笑って

世界も地球も一緒に回るよ回る

## 最後の僕

---

最後の僕は

悲しんでいた

答えが欲しかった

死ぬ前に欲しかった

どうしても見つからない

僕の思い届くことを願います

重ねる文章が少しずつ痛くなる

弱さの吐いた自分に嫌気が刺した

祈りを込めます 僕

しかし

欲望に満ちた世界と自分のせいで

世界が崩れた

丁寧に目を付けられて

でも怖くないとここで誓います

ここで生きていくと誓います

失う事を悔やみません

恋に落ちました

ありがとう

素直に生きていたい

その性質に僕はあります

この気持ちを届く事を願います

さようなら

ありがとう

## あとがき

---

あとがきに変えて

ここまで読んでありがとうございます  
これからもこうして詩を連載していきたいと思っています  
もしあなたが何かを感じてくれたら嬉しいです  
もし僕の気持ちが届く事を願います

ありがとうございました